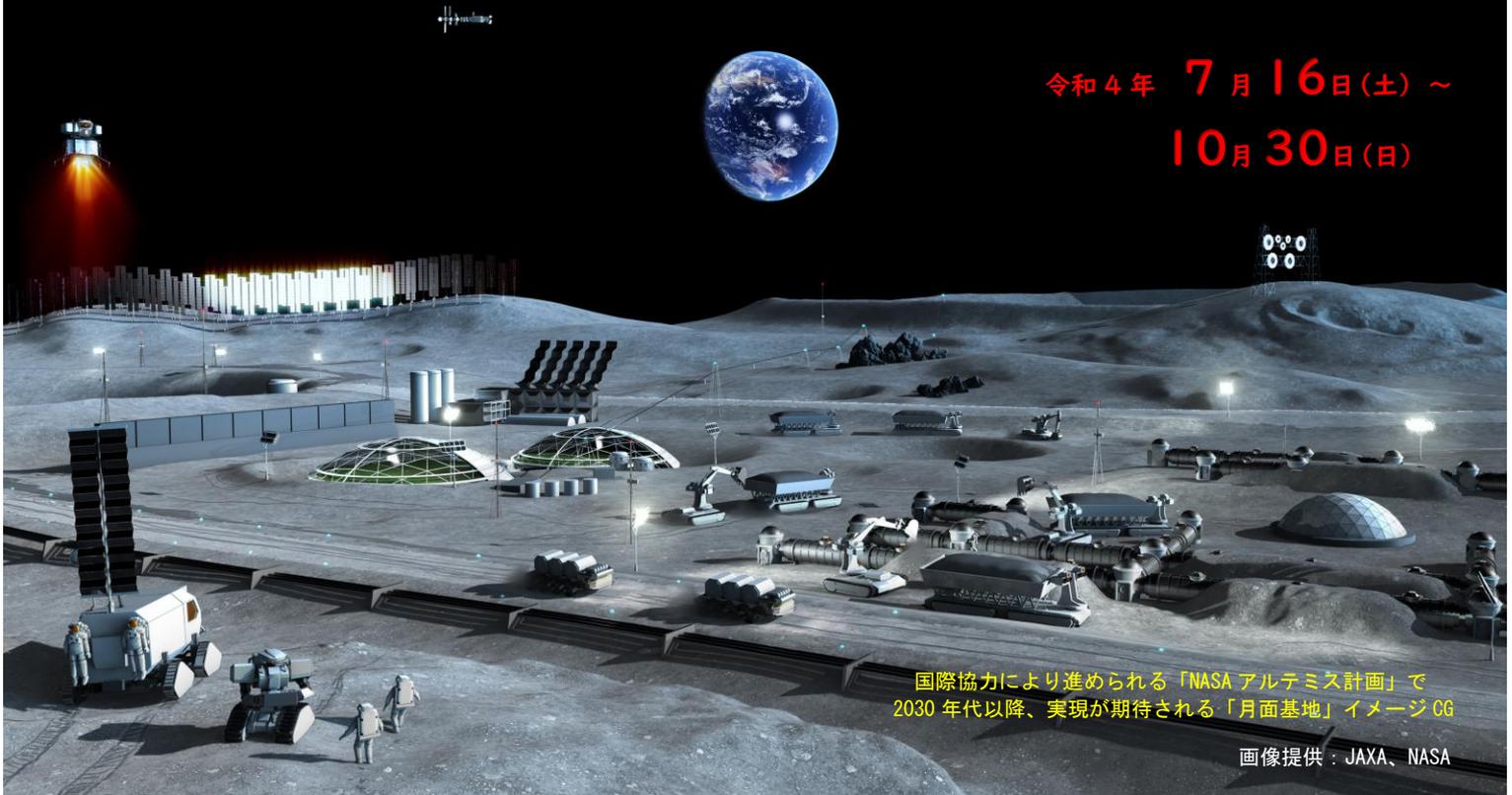


～ 毛利宇宙飛行士の初飛行から30年! ～

「宇宙開発最前線、そして未来へ」特別展

令和4年 7月16日(土) ~
10月30日(日)



国際協力により進められる「NASA アルテミス計画」で
2030年代以降、実現が期待される「月面基地」イメージCG

画像提供：JAXA、NASA

1992年9月12日、余市町出身の宇宙飛行士・毛利衛さんは、日本人で初めてスペースシャトルに搭乗し、数々の宇宙実験やミッションを成功させました。

あれから30年が経ち、これまで人類が宇宙へ挑戦してきた歴史や現在の宇宙開発の最前線、そしてこの先の未来を大型グラフィックや解説パネル、映像などでご紹介します。

主な
展示
内容

1 これまでの挑戦

- 「アポロ計画の全ミッション」解説大型グラフィック
- 「宇宙飛行士」と「宇宙での生活」等

2 宇宙開発最前線

- 「JAXA 宇宙飛行士の活躍」解説大型グラフィック
- 星出宇宙飛行士・野口宇宙飛行士ミッション映像
- 民間有人宇宙船「クルードラゴン」、民間有人宇宙船「スターライナー」
- 活動中の火星探査機「パーシヴィアランス」、宇宙からのメッセージ等

3 この先の未来

- 有人月探査計画（NASA の新型ロケット「スペースローンチシステム」(SLS) と新型宇宙船「オリオン」、月周回有人拠点「ゲートウェイ」等
- 人類は火星を目指す（探査、ロケット、有人拠点、移住計画等）



「国際宇宙ステーション」1/20 モデル
を中心とした解説コーナーを設置

宇宙開発の最前線
について解説パネ
ルや映像でご紹介
します!



民間有人宇宙船
「クルードラゴン」



民間有人宇宙船
「スターライナー」



NASA 新型ロケット
「SLS」



NASA 新型宇宙船
「オリオン」



月周回有人拠点
「ゲートウェイ」

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、ご入館の際はマスクの着用や連絡先のご記入をお願いしております。また、デジタルプラネタリウムは休止中です。くわしくは当館ホームページをご覧ください。

<ホームページ>

<https://www.spacedome.jp>



余市宇宙記念館

住 所：余市町黒川町6-4（道の駅 スペース・アップルよいち内）
駐車場：無料（道の駅をご利用ください）、電話：0135-21-2200
入館料：大人 500 円、小人 300 円 * 余市町内の小中学生は無料
開館時間：午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分（最終入館は午後 3 時 30 分）
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、8月30日(火)